

# 孫

四年

筆順 了子孫孫孫  
オン ソン  
クン まご

成り立ち



「つながり」という意味の「系（年865・係3年29）」と「子」を組み合わせて作った字です。

「子につながつた子」という意味の字で、「子どもの子ども」「つまり「まご」のことを表した字です。例内孫、外孫、嫡孫。

「孫の子」や「孫の孫」というように、その血を引いた人の意味にも使います。例孫子、子孫、末孫。

また、「間を一つおいてつながりのあるかんけい」を表すのにも使われます。例孫弟子（弟子の弟子）、孫引き（他の本に引用されているものを、そのまま引用すること）。

使い方

▽ぼくが生まれた時、おじいちゃんはずいぶん喜んでうです。ぼくが生まれる前は、うちにはおじいちゃんのお孫はいませんでした。大阪のおばあちゃんの所の男にいちちゃんは、やはりおじいちゃんのお孫ですが、外孫で、うちにはいません。だから、ぼくが初めての内孫だということで、うれしかったのだそうです。

熟語例

- ▽孫子（孫と子。また、子孫のこと。血統を受け継ぐ人たち。「この話は孫子の代まで語り継がれるだろうね」などというふうには、つかいません。）
- ▽子孫（子や孫および、その血を引いて生まれて来る人たち。「子孫のために、よりよい世界を残したい」などというふうには、つかいません。）
- ▽末孫（末の代の子孫。「バツソン」とも読みます。）
- ▽外孫（嫁に行った娘の生んだ孫。自分の家に属さない孫。「ガイソン」とも読みます。）
- ▽内孫（あとりが生んだ孫。自分の家に属する孫）
- ▽嫡孫（あとりになる孫。あとりのおとつぎになる孫。長男の長男）

使い方

▽日本は、いくつもの火山帯の上にあります。火山帯というのは、火山がいくつも分布している帯状の地域のことです。帯のように細長く連なる火山帯は、独特の地形をかたちづくっています。

熟語例

- ▽携帯（身に帯びていること。「携帯品を忘れないよう気をつけてください」などというふうには、つかいません。）
- ▽帯刀（刀を腰に帯びること。「江戸時代は、武士だけが帯刀を許されていました」などというふうには、つかいません。）
- ▽包帯（傷口を守るために巻く細長い布。「腕にけがをしたので、包帯を巻いてもらった」などというふうには、つかいません。）
- ▽連帯（複数の人々が一つになり協力して行動すること。「世界各国の人々が連帯して貧しい人々や迫害されている人々を救わなければなりません」などというふうには、つかいません。）
- ▽帯状（帯のように細長く続いているようす）

# 帯

四年

筆順 一 卍 卍 卍 卍  
オン タイ  
クン おび・おひびる

成り立ち



こしにまいた「おび」に、いろいろな物をはさんでつけた形の「巾」と、二重にした布の意味の「巾」とを組み合わせて作った字です。

むかしは、「物を身につける」ことを「身につける」といいました。「身に「おびる」という意味を表した字です。例携帯、帯刀。

こしにまく布のことを、「身につけるもの」という意味で「おび」といいます。例帯ひも。

「おびのように細長い形をしたもの」のことにも使われます。例包帯、火山帯。

また、「身につける」ことから「二つ（またはそれ以上）のものが一つになる」意味にも使われます。例連帯。